



令和3年度 No.26



「円」

多様な人が寄り合うときには、円がいい。上(かみ)も下(しも)もなく、誰とも同じように近く、丸い心で向かい合える円がいい。

(2021.11.22 『ほうじょう大トーク大会』 第16グループ)

『風の吹き返し』(当世北条小事情)

ほうじょう大トーク大会

「北条をどんなまちにしたいですか?」。11月22日(月)に行われた『ほうじょう大トーク大会』でのお題の一つです。

同じような問いかけが50年近く前にもあったのだと思います。小6の時、こんな作文を書いたことをうっすらと覚えています。・・・自分は北条を農業が盛んなまちにしたい。でもその農業は今と違って、機械で大規模にやるような農業だ・・・そんなことを書くと大人への受けがよさそうだ、というような意識もあった気がします。でも根底には農業のまちである北条への愛着もありましたし、そのさらに根底には自分も時々手伝う家業への誇りのようなものもあったと思います。同時に「機械で・・・」の部分には、農作業の大変さ、つらさから農家の方が解放されてほしい。もっと言えば日々遅くまで仕事をしている母親を楽にしてやりたい思いというか、母親が家にいる生活へのあこがれというかそんなものがあっていたと思います。もちろん社会の学習で北海道や外国の大規模農業について学んでいたことも記憶にあったのでしょうか。なんとなくでもこのことを今もって覚えているのは、PTA会報だったか、町報だったか、何かの記事として他の何人かの作文と一緒に取り上げていただいたのと、後になっても思い起こすことがあったからだと思います。

その頃から考えれば、今は未来の中に暮らしているわけです。その未来の北条はもちろん農業の盛んな地域です。機械化も含めていろいろな工夫や改良が進められています。一方、農業とは別にずいぶん景色が変わったところもありますし、そもそも町名が変わるなどと言うことは予想していませんでした。私は私で、結局全く農業に携わることなく(目指した時期もあったのですが)、それでも縁あってまた北条に関わりながら仕事をしています。

キャリアの発達は単純ではなく、回り道寄り道もたくさんあります。でもそうしたものがすそ野となって、人を高みに押し上げるのならば、そのすそ野をしっかりとしたものにするため、その時々足元を固めながら成長したいものです。昔の作文が私にとって、そして今回の『大トーク大会』が、今の小中学生にとって、そうした意味を持ったものになったのではないかと考えています。



『大トーク大会』での話し合いの様子

『ほうじょう大トーク大会』とは

小中学校一体型のコミュニティ・スクールとしてのスタートを切った今年、小学生、中学生、地域の大人が一堂に会して話し合う場を作ろうと、主に中学校に企画していただき 11 月 22 日(月)に実現しました。北条小からは 6 年生が参加し、中学生、地域の大人の方合わせて総勢 300 人超の人数を 32 に分けてグループ討議をしました。話し合いのテーマは SDGs をキーワードにした町づくりです。6 年生は SDGs のことやこうした話し合いを持つことの意味を事前に学習して臨みました。一つ一つのグループでの話し合いの様子は事後に書いた感想や大人の方のアンケートの言葉で紹介します。

6 年生の感想から

自分について

- 自分の意見をしっかり伝えられた。
- 意見を中学生より先に言えた。
- 中学生の人や地域の方などとあまり関わったりしなかったけれど、自分からしっかりと大きな声で発表してみると緊張しなくてちゃんと発表できたので良かったです。
- 来年は自分たちが引っ張る！



中学生について

- 中学生の方がとてもいい意見を言っていてすごいと思った。質問も深く考えていてすごかった。
- 中学生がしっかりといい姿勢で座っていたのですごいと思った。
- こわかったけど、しりとりや一発芸などをしてくれて笑えたので、こわくなくなってきて緊張もせずに話しました。
- 中学生からうなずいてもらったり、「分かりました」と言ってもらったりしてうれしくなりました。
- 私たちが混乱したりしたときは声を優しくかけてもらえたので、私たちもまねしてみたいです。
- 中学生になって、もし大トーク大会があったら今回の司会をしていた人みたいに、皆の意見を聞けるような中学生になりたいと思いました。



大人の方について

- 地域の方はいろいろな具体例を使って話してくださった。
- 中学校の先生が「具体的に言ってほしい」とおっしゃっていたので次回大トーク大会がある時には具体的にしゃべれるようがんばりたいです。また、普段の生活の中でも具体的に例などを用いたりして分かりやすくしゃべりたいです。

SDGs について

- SDGs というとどんなことがあるかわからなくて難しく考えていたけれど、他の人の考えを聞いていつもしている身近なことから SDGs につなげていけばいいと分かりました。

参加された大人の方のアンケートから

- どの子も真剣に取り組もうとしている姿があり、大きな成果だと感じました。自分の思いや伝えたいことをもっともっと言えようになってほしい。
- 自分なりに考えを言おうとがんばっていました。もう少し大きな声が出せるようになってほしい。
- 人の話を聞く姿勢○
- 少しでも皆が話しやすいように、司会者と協力者が分かりやすく進行されていました。
- 意見に対しての理由を引き出せたら、議論が深まりもっと良くなると思う。とても会の進行は良かった。
- 地域の方がたくさん入られるといろいろな実態がよく分かり、つながって育てていくことになるのではと期待します。
- このような規模で中合同の取り組みができたことは大きな一歩であると感じている。今後も同一の場で話し合える機会をぜひ作ってほしい。



地域の方、保護者の方、北条中学校の皆さま大変お世話になりました。